



○○ ◆ダイヤモンド◆ ○○ 校長 河田 真一

日本では、桜の花は別れと新しい出会いの象徴のような花だと思っています。学校でも、卒業式の準備が着々と進み、3年生が登校してくる日もあと3日となりました。また、修了式までは残すところ9日間です。3月は1年間の総まとめの時期になります。皆さんは、新しい学年に進級したときに、学習や学校生活、部活動や習い事などで新たな目標を立てたことと思います。いま、その目標にどれだけ近づくことができたでしょうか？どの程度達成することができたでしょうか？少し考えてみてください。

一年間を振り返ってみて自身の取組はどうでしたか？また、今の進捗状況はどうでしょうか？あとわずかですが、まだ数日残っています。自分でたてた目標や計画の実現に向けて、最後まで全力で取り組み、努力を続けてほしいと思います。たとえ100%達成できなくても、達成できる可能性がほとんどなくても、あきらめないで最後までやろうとする気持ちや努力が、次に何かを取り組む時に力になり、原動力になると私は考えています。今一度、「有終の美を飾る」ことを念頭において物事に取り組んで頂きたいです。

さて、唐突ですが、『ダイヤモンド』を知っていますか？

そうです。あのキラキラとした宝石で、値段も価値も最高級のあれです。では、この『ダイヤモンド』の元の姿を見たことがありますか？実は、この『ダイヤモンド』の原石はただの石ころなのです。原石は地中深く眠っていて、美しく輝いているわけでもないし、そのまま放っておけばただの石ころと見分けがつかないような物なのです。この原石を、時間と手間をかけて磨き、様々な行程をへだて、多くの労力をかけることで、より美しい光を放つ宝石、『ダイヤモンド』になるのです。そして、その美しく光輝くことで多くの人を魅了しているのです。周りに目を向けてみると、社会で活躍している人、注目されている人、光り輝いている人はみんな始めから光り輝いていたわけではありません。今までに、大変な時間や手間、努力をしているからこそ、いま光り輝いているのです。みなさんも同じです。人は必ず何らかの原石を持っています。どんな原石かはわかりません。原石だと思って磨いていたら、ダイヤモンドではないこともあります。原石だと思っていたものでも、磨いていたらダイヤモンドなこともあります。原石だと思っていたものがダイヤモンドなこともあります。『原石』のままの人はいれば、『ダイヤモンド』になる人もいます。内に秘めているどんな『原石』であっても、その原石を磨いて『ダイヤモンド』にできるかどうかあなた次第です。何事にも日々しっかりと学び続け、様々なことを経験し、知識や理解力などを身につけ、感じる力や表現力などを高め、自分の持っている能力を何年もかけて育てていくうちに、「すごい！！」と他の人からも感心されて、社会で活躍することや注目されるようになるのです。あなた自身の『原石』を磨き、光り輝く『ダイヤモンド』を手に入れてください。



Tsukushino Junior High School Every Day

■最近の学校の様子です

卒業を祝う会(I組)

3月4日にI組で卒業を祝う会が行われました。みんなで作ったカレーライスと白玉ポンチを食べ、午後から祝う会となりました。3年生から心のこもった言葉、保護者の方のお話、歌や出し物など様々な企画があり、みんなにとって思い出に残る素晴らしい行事となりました。1・2年生は3年生の思いをしっかりと受け継ぎ、よりよいI組を目指していきましょう。



進路を語る会・学習アドバイス

キャリア教育として、3年生の各クラスの代表生徒が、3月6日に2年生のクラスを訪れ「進路を語る会」、7日には1年生のクラスを訪れ「学習アドバイス」を行いました。話の後の質問タイムでは、たくさんの質問や悩みや疑問が出ました。身近な先輩たちからの貴重な意見は今後の大きな財産となったようです。また、1年生では3月5日に「父親の会」より6人のお父さんたちに講師として来ていただき、働くことに関する講話や座談会を行いました。お忙しい中講師を務めていただいた6名の皆様、ありがとうございました。



がん教育(3年生)

3月12日に、最愛の息子(当時中学1年生)を小児がんで失った岸部知佐子様(川崎市民団体「ミライアルかわさき」所属)を講師にお招きし、がん患者と家族の話、がん治療における治療方法などの話をさせていただきました。保健の授業でも学習している内容ですが、具体的な話を聞き、より身近な出来事として考えることができました。当日の資料は3年生廊下に掲示してありますのでご覧ください。講演いただいた岸部様、ありがとうございました。



笑顔と学びの体験活動プロジェクト

3月10日に東京都教育委員会事業の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、落語家の桂三四郎様をお招きし、上方落語会と落語入門教室を実施しました。普段体験することができない落語の世界に触れ、目を輝かせて聞いている生徒の姿がとても印象的でした。また、各会3人ずつですが、生徒が実際に登壇し落語の仕草や小話を体験しました。突然の出番でしたが、臆することなく対応できていた姿はとても頼もしく感じました。



3年生を送る会

3月10日5・6時間目に「3年生を送る会」を実施しました。委員会や部活動からのお祝いメッセージ、有志団体(1Aと2G)からの心温まるメッセージなどをPC部員が編集した「お祝いのメッセージ動画」は完成度が高く、とても素晴らしいものでした。これ以外にも卒業生と在校生の合唱のプレゼント、美術部の制作したくす玉など、厳粛な雰囲気との卒業式とは違う、和やかな雰囲気の送る会となりました。準備を進めてきた3年生を送る会実行委員の皆さんをはじめ、1年生・2年生のみなさん、お疲れさまでした。



◆◆ 保護者の皆様へ ◆◆

令和6年度を終えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。この1年間保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

コロナ禍との共存からコロナ後を経験したこの3年間の学校生活は、お子様にとりましては、様々な変化に臨機応変に対応しつつ、以前を思い出しながら試行錯誤してきた活動の連続でした。そんななか、生徒は前向きに、そして誠実に様々な活動を行ってきました。今年度は、PTA様より体育祭で使用する簡易テントをご寄贈いただきました。また、各行事では、運営を支えていただきましたこと、本当にありがとうございます。こうした保護者の皆様の陰ながらのお力添えがあってこそその学校教育だと思えます。

これからもつくし野中学校を温かく見守っていただくと共に、至らぬ部分につきましては遠慮なくご指摘いただければ幸いです。本校教職員一同、お子様の安心、安全そして健やかな成長を願って、今後も教育活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

■ お知らせ

◆英検・数検について

今年度までは本校で英検や数検を実施していましたが、教員の負担が大変大きいため、次年度以降は実施しないことになりました。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。英検については「英検 S-CBT」を町田駅から徒歩2分のところで毎週末受けることができるそうです。詳しくはホームページをご覧ください。<https://www.eiken.or.jp/s-cbt/>

◆ 広報誌「とうきょうの地域教育」発行

都の広報誌「とうきょうの地域教育」が発行されました。内容は『特集：インクルーシブシティ東京の実現を目指した障害者の生涯学習の取組』です。ぜひお読みください。

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/mishoubn.html>

3月～4月の主な予定

3月		
17	月	卒業式予行
19	水	第49回卒業証書授与式
21	金	球技大会(1学年)
24	月	球技大会(2学年)
25	火	修了式、離任式
4月		
7	月	始業式
8	火	第50回入学式
11	金	新入生歓迎会
17	木	全国学力調査(3学年)
18	金	保護者会(全)

ご意見・ご感想 入力フォーム

『学校だより』に関するご意見・ご感想などございましたら、下のアドレスよりフォームにお進み入力をお願いします。

<https://forms.gle/2Xp4VVKb6nHEAfuY8>